「第５次岸和田市総合計画」の策定及び「都市計画マスタープラン」の見直しに向けて

まちづくり市民懇話会
とことん懇話会

2022. 8. 7
No. 35

TOPICS

第35回目は『情報発信の実践内容の進め方』について再度共有・確認したあと、これまで議論を重ねてきた『総合計画・都市計画マスタープラン』に関して、パブリックコメント（意見公募）の報告及び結果を踏まえ、『総合計画』に対する市民の意識醸成について意見交換しました。

オンラインで開催！

とことん1

到達目標　情報発信の実践について確認しましょう。

第34回で議論した『情報発信の実践内容の進め方』を再度、全体で共有し、次回までに各自で実践することを確認しました。

とことん2

到達目標
・情報発信の実践について確認しましょう。
・パブリックコメント（意見公募）の報告を踏まえ、『総合計画』に対する市民の意識醸成について意見交換しましょう。

事務局より、パブリックコメント（意見公募）と基本計画素案の主な修正点について報告し、全体で意見交換しました。

※開催にあたり、新型コロナウイルス感染症対策を実施しています。

■開催概要

第３５回：令和４年　８月７日（日）
場　　所：オンライン＋市役所（臨時オンライン会場）
参 加 者：市　　民：現地オンライン　３名　オンライン　１０名
　　若手職員：現地オンライン　３名
議　　題：１．情報発信の実践について
　　２．『総合計画・都市計画マスタープラン』の意見公募の報告と結果を踏まえた『総合計画』に対する市民の意識醸成について
　　３．次回について

とことん２・続

続いて、『基本計画に記載の市民（個人や家庭）の役割をみんなに実践してもらう方法や仕組み』について、総合計画に対する市民の意識醸成を図っていくには、どのように市民の皆さんのモチベーションを上げていけるか、情報を知って、行動に移してもらうための方法とは、またその仕組みとはどのようなものが考えられるか、グループごとに意見交換をしました。

主な意見

・子育て/共働き/単身/高齢者など、ターゲットを分けた情報発信・意見の収集をする（それぞれのターゲットが手に取りやすい場所に関連情報をまとめた冊子等を設置するなど）

・身近な人からの情報共有があるとよい（パブコメや説明会へ参加するよう誘うなど）

・情報を見に行くためのインセンティブをつくる（ポイ活、ログインすれば、ポイントがもらえるような仕組みを活用する。合言葉を載せておいて、送れば抽選で当たるなど）

・共通の課題から関心を持ってもらう（お金の節約、資産運用、将来の不安など、分野を超えて共通して興味があることをきっかけに情報発信する）

・民間企業（保育園、教育関係や住宅関係など）と連携して、市民が興味を持つコンテンツと抱き合わせて説明会などを実施する

・より多くの人へアピールするために著名人や市長などが前に立ち、市民に呼びかける

・夏休みの宿題などを活用し、家庭で総合計画に即した内容を考える機会を持つようなきっかけをつくる

・若い世代の参画と世間へのアピールの期待として、高校生と連携して取り組む

など

とことん３

懇話会後の参加市民・若手職員からの感想です

- 懇話会に参加する前までは12年間の計画や基本計画があることさえ知りませんでした。多くの市民の方もそのような状況にあるのではないでしょうか。市政をよくしていくためには、市民の方々の意識を高めていくほか方法はないのではと思います。
- 「総合計画は難しそう」というイメージではなく、ハードルを低くし、「取り組みやすそう」というイメージをつくることが必要と学びました。

■今後の予定

【第36回】 令和４年８月21日（日）➡ 『実際の行動に移してみる』（実践のふりかえり）
【第37回】 令和４年９月　4日（日）➡ 『計画策定後の懇話会のあり方検討』【書面開催】

お問い合せ：岸和田市役所　総合政策部企画課　政策担当　　（tel. ０７２-４２３-９４９２）